

日本対がん協会とは

公益財団法人・日本対がん協会は1958年、がんの早期発見や早期治療、生活習慣の改善によって「がん撲滅」を目指そうという趣旨で設立されました。

活動は、がんに対する正しい知識の普及やがんの無料相談（面接、電話）、がん検診の推進、医師や放射線技師・保健師・看護師らの研修・育成、検診車や放射線撮影装置など機器類の整備促進、がん患者支援など多岐にわたっています。

46道府県に支部があり、全国でもがん征圧運動を展開しています。おもに市町村の委託を受けた住民の集団検診を実施していて、精度の高いがん検診や、がんに関する知識普及活動を展開しています。

こうした幅広い活動は、さまざまな団体や企業、個人からの寄付によって支えられています。